

# 令和4年度事業報告書 <デイサービスセンターあじさい園>

テーマ：非常災害（感染症・自然）の避難計画に基づき、安全・安心あるサービスの提供と  
人材の確保に努める

～安心して働ける職場として利用者・職員双方への優しいケアの実現～

サブテーマ：利用者、家族から信頼され、地域から必要とされる施設づくり

## 1. 利用者一人ひとりが安全で快適に過ごせる場所の提供

- ①事業所内で申し送りノートへの記載の徹底や、職員が多く集まることのできる昼のミーティングを活用し、情報の発信や共有に努めることができた。
- ②毎月1回行われる茶話会は年間を通して各曜日均等に開催し、利用者の意見を広く聞く事ができた。希望の多かった外出行事はコロナ対策のため行えなかったが、おやつ会に意見を反映させるなど工夫して利用者満足アップにつなげる事ができた。
- ③防災委員会、感染委員会を中心にBCP作成に取り組んだ。中でも、利用者や家族に協力を仰ぎ、あじさい園公式LINEのネットワーク作りを行った。令和4年度は雪による休園はなかったが、コロナ関連による急な休園などの緊急時に、利用者やケアマネージャーへのスムーズな情報発信が行えた。

## 2. 人材育成と定着を目指す

- ①毎朝唱和する目標に5Sの内容を盛り込み、報連相しやすい職場づくりに取り組めた。
- ②コロナ関連の有給休暇や欠勤があり、計画的な有給休暇にまで至らなかったが、コロナ関連の休みで有給休暇取得の個人差が大きくなるよう積極的に勤務調整を行った。
- ③WEB研修や、ネット配信研修への参加を呼びかけ、全員が年1回以上研修に参加できた。全国老施協研究大会にも全員が参加できた。また、キャリアパス制度で実務者研修に2名が7日間参加し、修了することができた。このうち1名が介護福祉士も取得した。
- ④腰痛による休退職者を減らす為、腰痛帯の購入を福利厚生費として補助した。

### 3. 稼働率を安定させ、増収に繋げていく

- ①保健所の指導によりコロナウイルス関連の休園が令和4年度は6回(計15日間)あり、稼働率が安定しない原因となっていた。しかし、事業所の空き状況を毎月各居宅に配信し、また日頃から気づきや提案を積極的に発信することで、ケアマネジャーとの信頼関係を築くことができ、徐々に新規依頼も増加した。
- ②多様化する利用者や家族のニーズに対応すべく、要支援・要介護者の半日利用やターミナルの方の利用、医療度の高い利用者の受け入れを行った(約10名)。
- ③令和4年度の坂井市一次予防教室(2教室)を受託し、地域の高齢者への健康維持活動を通して、参加者には法人についてアピールできた。また、これまで受託してきた一次予防教室の利用者が介護保険利用に伴い、あじさい園を利用することも増えてきた(全3名)。